

第3号



あけましておめでとうございます

白石東地区の皆様、昨年は白石東まちづくり通信の取材や発行にご協力いただき、誠にありがとうございました。

本年も楽しい紙面づくりを心がけて参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

本紙は、白石東まちづくりセンターを編集局に、そして地域の方々が記者になって地区内を取材し発行する“白石東地区限定”の情報紙です。皆さんも身近な話題をどしどしお寄せ下さい。スタッフが取材に参ります。

白石東

まちづくり通信

2006.1.1 発行



JICA 札幌で

ワールド・ジャンクション

(世界の交差点)

取材担当：武田



にぎやかに開催！



第4回「ワールド・ジャンクション 2005」が、11月23日に JICA 札幌で開かれました。ワールド・ジャンクションとは“世界の交差点”といわれ、世界の人と人が出会い、そして交流のすることを目的に開催されています。今回参加した JICA 研修員はアルメニア、アゼルバイジャン、モンゴル、ブラジルなど8ヶ国から18人で、白石区子ども会から約40人、そこに父母や JICA スタッフも加わり総勢80人で行われました。

当日のプログラムは、JICA の施設見学、研修員の紹介、その後セレモニーとしてよさこい踊りが披露され、研修員が飛び入りする場面もありました。

また、工作の時間では、石鹸を使わない不思議な割れないシャボン玉作りが行われ、楽しいひと時を過ごしていました。

JICA 札幌：白石区本通 16 丁目南 4-25



札幌の新文化「よさこいソーラン」の舞をご披露。

割れないシャボン玉は、カラフルな針金で輪を作り、回転させると見えてきます。

楽しく子育てしていますか？

子育てサロン

を紹介します

この指と~まれ!



取材担当：横道

0歳から就学前の子供たちと、その保護者(お父さん・お母さん)の皆さんが自由に集まって、おもちゃ遊び、紙芝居や絵本の読み聞かせなどを通して、親子や親同士の交流の場となっているのが「子育てサロン」です。特に、お母さん達とは情報交換をしてもらって、“地域の中で子供を育てていこう”という活動の場づくりを目指しています。参加する親子は毎回100人程度、事前の申し込みも不要で、参加費は無料です。公園も雪で使えないこの時期、子育てサロンの暖かいお部屋で、お子さんと一緒に遊びませんか？ 親切なスタッフがお待ちしています。



子育てサロンには、毎回多くの親子が参加しています。

【日 時】毎月第3水曜日午前(10:00~11:45)
【場 所】白石東会館 (白石区本通 18 丁目 2-6)
【お問合せ】TEL 862-0813

【スタッフ】
主任児童委員・民生委員・青少年育成委員・ボランティア・白石区保健福祉サービス課



代表の林由美子さん (主任児童委員)

地域の学校を
紹介します！

札幌市立 平和通小学校



この学校には
どんな物語りが
あるのかな？

開校 30 周年を迎えました

文章：教頭 市谷幸喜

平和通小学校は昨年、開校30周年を迎えました。これを記念して、10月28日に「教育実践発表会」を、11月1日には「記念式典」を札幌市教育委員会様や白石区内各小学校長、柏丘中学校長など教育関係者はもちろんのこと、町内会関係者や旧職員、保護者などたくさんの方にご臨席をいただきながら行いました。

本校は昭和50年6月から、高棹政義初代校長と井上博初代教頭によって開校準備が進められました。校章、校歌も決まった昭和51年3月、本通小学校と大谷地小学校から530名の児童が移籍し、開校式が行われました。同じ日に行われた「開校祝賀会」には514名のご参会をいただいております。本校の開校に寄せられた期待の大きさが伺えます。その中を昨年度までで2541名の卒業生を送り出しました。



開校式の様子(昭和51年)

校章と校歌について



校章

校章は、市章や雪の結晶と関連づけて正六角形を基底としており、北国に生活する札幌の子供を表現しています。また、中心の六角形に「平」と「小」を配置して校名を表し、外周には大空に羽ばたく「平和のハト」を図案化し、未来に向かって巣立つ子供の姿を「知育」「徳育」「体育」の3枚の羽で表現しております。また、校歌には「自立」と「共生」の精神が歌われています。こうして始まった本校の歴史は、第10代佐藤正矩現校長に至る歴代校長の指導のもと、現在の形をなしてまいりました。

待望のプールが完成

昭和51年の第2期工事で図工室、音楽室、図書室が完成したのをはじめとして、校舎や施設が徐々に整えられていきました。中でもそれまで大谷地小学校のプールを借りて行っていた水泳学習が自由に行えるようになったのは昭和63年7月のことで、児童にとっては待ちに待った施設の完成でした。



プール開き(昭和63年)

新たな活動、そして未来へ

教育活動においては、福祉教育に早くから取り組み、特別養護老人ホーム「白石ハイツ」との交流は昭和54年から始まり、現在もまだ続いています。このほかにも「札幌養護学校」「柏葉荘」との交流も行ってきました。「ユニセフ募金」「リングプル回収運動」も児童会が中心になって取り組み、現在も続いている活動です。

「国際理解教育」にも早くから取り組み、平成8年から外国の人との交流が始まり、以後、すぐ近くでできたJICAの研修生との交流を行って来ました。最近では、英語活動を取り入れ、ALTも積極的に活用しております。さらに最近はコンピュータが導入され、1年生から操作やお絵かきなどに親しんでいます。



コンピューター室

このように、本校は開校以来、札幌市の教育の先駆的な役割を果たしてきたと自負しておりますが、これまで本校教育を支えてくださった方々がいたからこそと感謝しております。

校歌にあるように「拓いた人等の蹟うけて」今後も良き伝統を受け継ぎながら「共に手をとり 助け合い 未来をみざし進んでいく」児童の育成に努力してまいります。今後ともお力添えをよろしくお願いいたします。



シリーズ:白石東歴史探訪



国道12号線が舗装されたのは、昭和30年以降からなんだって。

ふるさと昔の風景

取材担当:五十嵐

国道12号線や環状線など、車の往来が激しい幅広の道路。毎日大勢の人を運ぶ地下鉄。高層マンションが立ち並び、華やかな看板が並ぶ商店街。今の白石東地区では見馴れた街並ですが、昔はどのような風景だったのでしょ。今回は、昭和10年~20年頃の当地区の様子をご紹介します。



【写真1】国道12号線(昭和15年頃)

【写真1】国道12号線 写真:白石歴しるべ(白石区役所発行)

写真は昭和15年頃のもので、道幅は現在の半分以下、人通りも少ない砂利の道でした。この頃、道路脇にはすでに電柱の姿も見られます。

【写真2】柏山周辺(現白石東地区)の様子 写真・お話:永井登さん

昭和20年代、周囲は水田や畑など一面に農地が広がっていました。また、リンゴ農園を営む農家も白石では多かったようです。特にリンゴは、進駐していた米軍の兵士にも評判が良く、月寒にあった軍の施設でたくさん売れたそうです。

まだ自然が多く残っていたこの頃は、近くの林では山菜がたくさん採れ、厚別川ではサケが、また月寒川ではカラス貝なども獲れていました。



【写真2】柏山周辺の様子(昭和20年頃)

取材で知った“木箱物語”

今回の取材の中で、「昔、栄通16丁目界隈に木箱を作る工場があった」という情報を聞きました。お話して下さったのは、地元で金物店を営んでおられる永井登さんです。



お話して下さった永井さん

永井さんによると、もともとご両親は丘珠に住んでいましたが、太平洋戦争がはじまり、昭和17年に空港整備のため立ち退きを言い渡され、以来この地



製箱工場はその後、倉庫や店舗として再利用されました。(写真提供:永井さん・平成3年撮影)

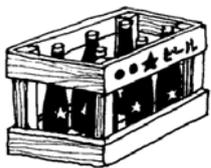
域に移り住んで来たとのことでした。

戦後の混乱も一段落した昭和30年代、永井さんのお父さんは製箱工場をはじめました。箱というのは、今では見られなくなったピンを運ぶための木箱で、「当時は、村界通(現東北通)沿いに、長屋のように製箱工場が並んでいて、ビール、日本酒、コーラ、ジュースなど大半の飲物の木箱はここで作っていたよ」と教えてくれました。

進んでいた「リサイクルシステム」

お話の中で驚いたのは、木箱のリサイクル方法でした。使用済みの木箱は、安く処理するために東苗穂の刑務所へ解体作業を依頼していました。そして解体された木片は、江別市にある製紙工場に送られ、紙となって再利用されました。苗穂と江別の間という立地を生かしたリサイクルシステムだったのでした。

昔、酒屋さんで見たケースはコレね!!



ピン用の木箱

趣味のコーナー

みんなのギャラリー

取材担当：五十嵐

和紙はり絵で、和装の美人画

下絵を描いて、型紙をたくさん作り、その型紙通りに色々な和紙を切り貼って仕上げる「和紙はり絵」。今回は、はり絵作家の山口陽子さんのお宅を取材しました。

個展を開催されたこともある山口さんは、地下街のふれあい広場でも2年に1回作品を展示し、昨年で16回目を迎えました。なお、山口さんの作品は、白石亭にも展示されています。

作品介绍

和紙はり絵工房：白石区本通16丁目北4-47
TEL011-862-3088

はり絵は、屏風状にしたり、うちわ、羽子板にも使われているワン！



和紙はり絵工房
山口陽子さん



母親のアイさんが人形作家であったことから「身の周りには和紙がいっぱいありました。そして1枚のはり絵との出会いから作りはじめ、今年で38年になります。」とたくさんの作品を見せて下さった山口さん。



子供カルタ会

イベントのご案内

子供カルタ会を下記の日程で開催します。当日は「おしるこ」も用意しております。

場所：白石東まちづくりセンター

日時：平成18年1月22日(日)9時から

申し込みは1月14日までに各町内会青少年育成委員へ

第14回 白石東地区室内スポレク大会

町内会の皆さんでチームを組み、ミニバレーやテニポン、インディアカなどの室内競技を楽しみませんか？

場所：市立大谷地小学校体育館

日時：平成18年2月5日(日)9時から

申し込みは1月26日までに白石東まちづくりセンターへ

新春企画

趣味の俳句

職人の技すみずみに冬構

大津波生死は神に年逝けり

身の丈に生きて今年も暮れにけり

初詣二人の絆あたたかき

箱根路をタスキで結ぶ三が日

拍子木が遠くにきこえ寒に入る

武田 祐次

俳句や川柳、短歌などを趣味とされている方
作品がありましたらご紹介下さい。

情報をお寄せ下さい！！

「近所におもしろいものがある」、「前から気になっていた施設がある」、「ユニークな活動をしている人を知っている」など、どんな話題でも結構です。皆さんからの地域の情報をお待ちしております。



取材スタッフ

武田祐次(町連)・横道実(社協)・杉浦凧子(民児協)
五十嵐載子(育成)・長井和幸(体振)

お問い合わせ 「白石東まちづくり通信」編集局

〒003-0026 札幌市白石区本通18丁目南2-6 白石東まちづくりセンター内

TEL011-862-0813 FAX011-862-8694 (休館：土・日・祝日)